

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第2回文化財審議会
開催日時	令和2年12月22日(火) 15時00分～17時00分
開催場所	中央図書館 集会室
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、 松本伸行委員、杜多堯慶委員、小林浩委員 事務局 (深迫課長、堀副課長、佐藤主任)
欠席者	大野主事補
会議次第	1. 議案事項 (1) 市指定文化財指定・認定基準及び文化的景観における選定基準の策 定について (2) 市指定文化財候補について 2. 報告事項 (1) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業「ほるとま展2020」 について (2) 第9回入間東部地区地域史研究発表会について 3. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開 (傍聴人 0人)
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（議長・課長）

1. 議案事項

（1）市指定文化財指定・認定基準及び文化的景観における選定基準の策定について

事務局：前回の審議会において指定・認定基準の案を提示させていただいたが、その際追加すべきと指摘のあった記念物における名勝に「耕地」の文言を入れさせていただいた。他に訂正・追加すべき箇所はあるかどうか、ここでもう一度ご意見を伺いたい。また、文化的景観における選定基準についても併せてご意見伺いたい。

委員：文化的景観における選定基準についてであるが、基準案をみると近景としての景観地が主となっているが、遠景としての景観地・風景についても考えるべきではないか。例えば原風景などの広大な風景を認定していくなど、様々な景観地を含めた広範囲を認定することも基準の中に入れるべきではないか。

事務局：基準案の2に様々な景観地が複合した景観地という文言があるので、そちらに原風景などの遠景としての広大な景観地を含むように考えていたが、文言として少し分かりにくいので、「遠景」や「風景」を入れた文言に変更したいと思う。

議長：また次回に訂正したものを出していただくとして、それ以外の部分については特に問題なければ承認ということでしょうか。

→委員承認。

（2）市指定文化財候補について

事務局：文化財審議会ではこれまでに30を超える指定文化財対象候補について審議を行っており、その候補の中から近年では大澤家文書や林家文書、打越式土器、役行者坐像が指定文化財に指定されてきた。文化財指定のために今後も貴重な資料を指定文化財対象候補に追加していくべきと考えているが、最近では平成26年度に候補の追加が行われたが、ここ5年程は追加が行われなかった。そこで、事務局からは新規に2点の文化財について候補の追加を行いたく、提案させていただきたい。また、既に候補となっている3点の文化財についても改めて資料価値の再評価のために、文化財の概要についても併せて紹介させていただきたい。

— 事務局から5点の文化財について概要と歴史的価値について説明 —

委員：「五榜の掲示」については教科書に載っている内容なので、指定候補への追加に賛成である。子供や学生にとっても、教科書に載っているものを間近に見ることができるので、教材としても活用できるのではないか。

委員：「子待塔」以外は難波田城資料館で保管・保存されているものだが、「子待塔」は個人の敷地内に安置されており、散逸や消失を防ぐためにもまずは「子待塔」を考えていくべきではないか。

委員：現在の「子待塔」は目立たなく、文化財として見てもらえず勿体ないと思う。

事務局：指定文化財になれば、他の指定文化財同様に案内看板を設置していくことになり、そういった問題は解消される。また、市のHP等でも公開することになり、市民にも「子待塔」という文化財を知ってもらえるものと思われる。

委員：昨年度指定された役行者坐像により、富士見市に里修験が広まっていたとする端的な歴史が徐々に解明されつつあるわけだが、里修験や甲子講と関わりのある「子待塔」を指定すれば、富士見市の里修験を知るうえで貴重な資料と成り得るのではないか。指定するのであればできるだけ早い方がいいのでは。

議長：「子待塔」を含め、どれも富士見市の貴重な文化財であると思うが、指定文化財を検討していくうえで指定文化財の候補に登録してゆくということなので、反対の意見がないのであればまずは新規2点の文化財について候補として登録する方向で承認してよいか。

→委員承認。

事務局：それでは新規2点の指定文化財候補及び既存の指定文化財候補について、内部で十分な検討をさせていただき、今後は指定に向けて随時教育委員会として審議会に諮問をさせていただく流れとなりますので、よろしく申し上げます。

2. 報告事項

(1) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業「ほるとま展 2020」について

— 事務局より報告 —

- ・令和2年11月13日（金）～16日（月）まで、ららぽーと富士見で実施。来場者数は4,483人。
- ・展示内容は、富士見市打越遺跡出土の市指定文化財「打越式土器」及び出土石器・石製品について。

(2) 第9回入間東部地区地域史研究発表会について

— 事務局より報告 —

- ・令和2年11月22日（日）、富士見市立ふじみ野交流センターで実施。来場者数は62人。
- ・発表内容は、「戦国時代の村人の祈り」、「山岳信仰と代参講」、「農家の祈り～道具・歳時記～」について。

3. その他

特になし。

次回会議、3月上旬に調整する。